

生活支援体制整備事業研修
“つながり”が生ま出す にこやかな暮らし
～身近な地域の取組紹介～



認知症カフェ 「あずまカフェ」

～安心して散歩できるまちを目指して～

2019年12月2日(月)

武藤道子実行委員長

市川妙子副委員長



認知症カフェとは

- 認知症の方と家族を支える
心のよりどころ
- 地域の方が直接認知症の方と
交流できる場所



■ 認知症カフェのメリット

気後れなく本音で話せる

地域の関わりができ、
友人ができる

心理的な不安の軽減

症状の早期発見、治療

娯楽として息抜きになる



私たちの町、東久保町について①



〈西区〉 横浜市ポータルサイト H31.3現在

- ・人口 101,962人
- ・高齢化率 19.8%

〈東久保町〉 横浜市ポータルサイト H31.3現在

- ・人口 3,883人
- ・高齢化率 24.4%

〈町内会〉

- ・4つある
(東朋会/東台会/東睦会/東風会)

私たちの町、東久保町について②



〈地形〉

- ・ どこに行くにも山坂階段
- ・ マンション18階建て分の標高

〈町の様子 昔と今〉

東久保町と 生駒医院(G.Hフィニックス)

〈生駒医院について〉

- 東久保町の真ん中、唯一
- 運営開始から地域と交流あり
- 3 F 建て(G.H/デイサービス)





認知症カフェ 立ち上がりのきっかけ

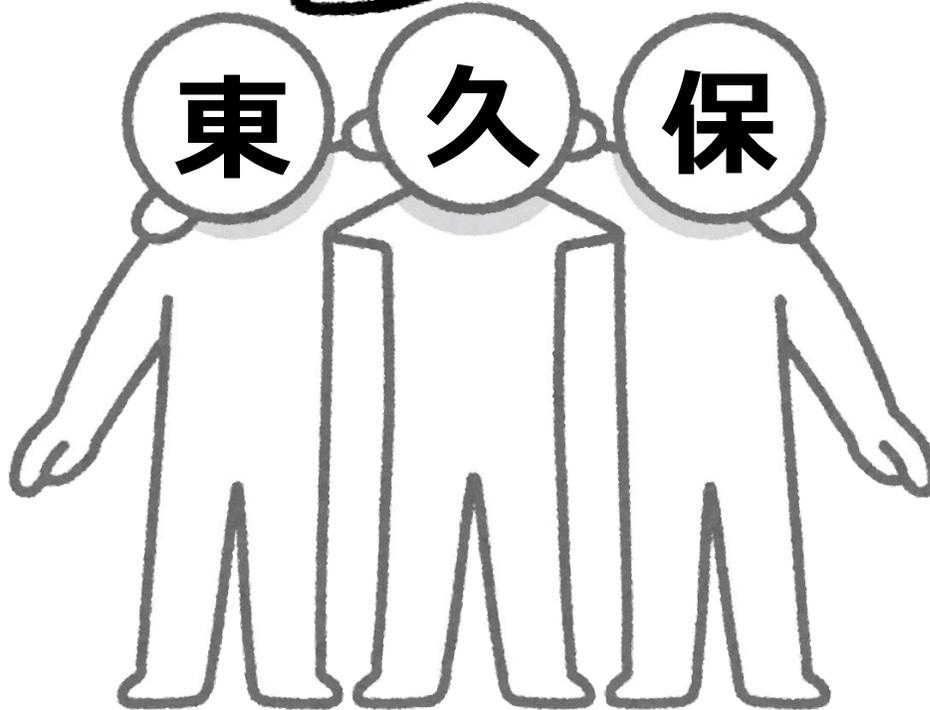
空いている2Fを
提供しますよ!!

生駒医院
（フイニックス）



やってみよう!!

東 久 保



地域に認知症の方
住んでますよ

藤棚地域ケアプラザ





H30年10月13日 理念とともにスタート

あずまカフェの理念

- 安心できる場であること
- 悩みを共有できる場であること
- 自分で選び決定する場であること

特別な人がいるわけでもなく、
特別でもない場所

〈あずまカフェの楽しみ方〉

- ◎入り口で参加費100円をいただきます。
- ◎好きなコップを選んでください。
- ◎好きなドリンクを選んでください。
- ◎好きな席にお座りください。
- ◎お話をしても良いですし、しなくても良いです。
- ◎お知りの方、そのご家族、介抱した経験者等様々な方がいらしゃいます。
- ◎疑問や悩みが共有できると、気持ちが軽くなりますね。
- ◎ドリンクのおかわりは自由です。
- ◎おかわりの際は、係の方を呼ぶだけではなく、自分で歩いて、自分で選んで、自分で運べると理想です。
- ◎お菓子をご用意しています。
- ◎お好きな時間に来て、お好きな時間にお帰りください。



安心できる、平等な、あずまカフェ

あずまカフェ実行委員会

- 安心できる場であること
- 悩みを共有できる場であること
- 自分で選び決定する場であること

特別な人がいるわけでもなく、
特別でもない場所



あずまカフェの様子



色とりどりの食器



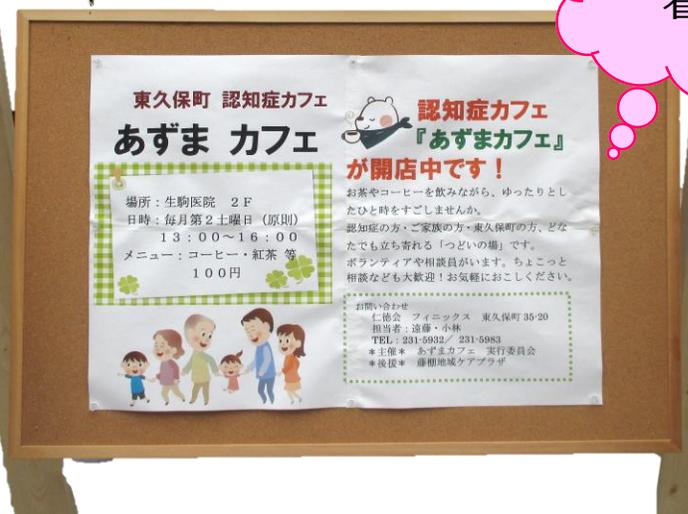
楽しいイベント



季節を彩るあたたかい看板



手作りの看板



東久保町 認知症カフェ
あずま カフェ

認知症カフェ
「あずまカフェ」
が開店中です!

お茶やコーヒーを飲みながら、ゆったりとしたひと時をごしませんか。
認知症の方・ご家族の方・東久保町の方、どなたでも立ち寄れる「つどいの場」です。
ボランティアや相談員がいます。ちよこっと相談なども大歓迎！お気軽におこしください。

お問い合わせ
〒组委会 フェニックス 東久保町 35-20
担当: 遠藤・小林
TEL: 231-6932 / 231-5983
主催 あずまカフェ 実行委員会
後援 唐崎地域ケアプラザ

場所: 生駒医院 2F
日時: 毎月第2土曜日(原則)
13:00~16:00
メニュー: コーヒー・紅茶等
100円



H30年10月～R元年11月 参加者数

(R元年10月台風のため中止)

お待ちしております

雨の日も
風の日も
雪の日も

平均
36人

あずまカフェ
看板娘

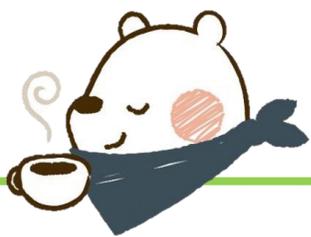




スタッフの気持ち



- 来た方々が
「**いてくれたのね。ほっとする。**」
と言ってくれるので、**休まない**で出ようと思う。
- 来てくれる方との関係ができ、
皆さんの顔が見られるのが、楽しみ。



参加者の気持ち

認知症の方を介護するご家族

母と一緒に来ました。
スタッフに、知り合いの方もいらしゃって、
少し、ホッとしています。
他の皆様（お客様）のパワーに
負けない様に、ここからも頑張ります
としても、この様な場所を与えて下さって
ありがとうございます。

認知症の方を介護するご家族

（妻）が大勢の人がいて話かけると楽しそうです。私も
家にいると話ることがないので楽しいです。



ノートより抜粋

認知症当事者

あ、い、し、こ、に、こ、ち、そ、う、さ、ま
し、あ、め、せ、な、気、持、ち、で、す。

地域の高齢者

ここが一番の楽しみ。
みんなに声をかけて
教えているの。



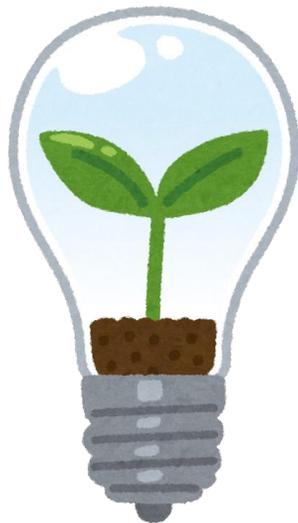
カフェ開催後の変化①

挨拶の輪が
広がった

待ち合わせは
カフェで

認知症の方を
介護する
ご家族の支援

毎月楽しみ



肩の力が
抜けた



カフェ開催後の変化②

認知症の方とそのご家族の支援

「妻は認知症です」
「閉じこもって心配」
「妻には外出してほしい」

「自分の悩みを
誰かに聞いてほしい」

「閉じこもりでは
ありません」
「私は病気じゃ
ありません」
「介護サービスは
不要です」



認知症カフェ「あずまカフェ」に参加して

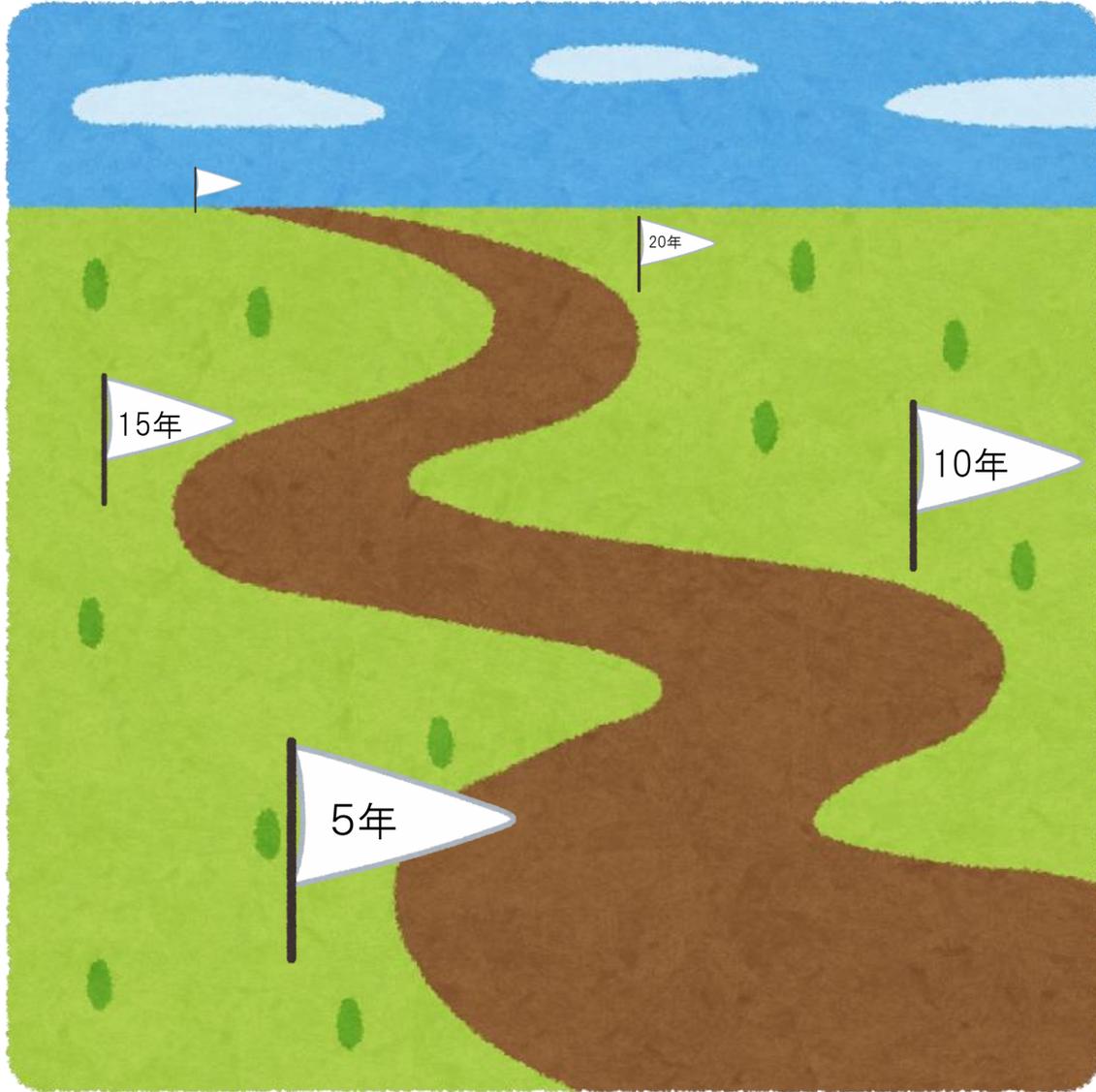


- 【夫】
- ・ 新たな出会い
（運営する地域の方
参加する地域の方）
 - ・ 相談相手が出来た

- 【本人(妻)】
- ・ 友人との再会
 - ・ カフェへの参加
 - ・ 介護サービス利用



これからのあずまカフェ



継続

財産

拠所

発見

学び

変化





安心して 散歩できるまち